



ゆたたり

学校教育目標 「元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成」

令和 3 年 12 月 23 日発行 文責 校長 副島 和久

多良小学校 2学期の振り返り

冬至も過ぎて、いよいよ冬も本番です。明日からはまた、強い寒波が訪れるということで、十分に備えが必要だと思えます。多良小学校も明日で2学期が終わります。子どもたちは冬休みが待ち遠しい様子です。この2学期を振り返って、多良小学校の学校教育目標 → 目指す子ども像の実現状況についての校長としての自己評価をお伝えしたいと思います。



学校HPもご覧ください



学校教育目標

令和3年度 元気いっぱい 笑顔いっぱい とともに学び合う多良っ子の育成！

目指す子ども像 多良っ子は **かしこく** **やさしく** **たくましく**

☞ よくできていると思う点 ☜ 課題と思われる点



かしこく

授業はもちろん、学校や家庭で直面する様々な課題を「自分の事」としてとらえることができ、一人で考えるだけでなく、友達や家族、先生などと関わりながらよりよく解決しようとする子ども

- ☞ 授業の中では、昨年度にも増して、ペアやグループでの活動で友達と進んで関わりながら生き生きと学んでいる子どもたちの姿が見られました。コロナ感染には配慮しつつ、多様な学習活動にも取り組むことができるようになってきました。
- ☞ 特別支援学級においても、個々の子どもに寄り添った手厚い指導が行われており、着実に力を付けています。学校訪問等では、教育委員や学校評議員の皆様からも評価を得ています。
- ☞ 児童会の各委員会の活動においては、お互いに協力し合いながら、それぞれの責任をしっかりと果たし、創意工夫しながら、楽しく取り組むことができていました。
- ☜ 学習用具の忘れや宿題忘れ、「たらっ子」連絡帳の提出忘れ、授業への集中力不足などが目立ち、基本的な学習習慣・生活習慣の定着が十分でない子どもがいます。連絡帳は家庭でのチェックなど、保護者の方をお願いしていることが十分にできていないご家庭もあります。
- ☞☜ 通常学級に在籍しつつも、特別支援教育的な配慮を必要としている子どもが一定数います。教員や支援員の先生方の献身的な努力により、救われている子どもが多くいますが、まだまだ全ての子どもたちに十分には手が行き届いていないのが実情です。



やさしく

美しいものを見て、「きれいだな」と感じるができたり、困っている友達に気付いてあげたりするなど感性が豊かであり、自分以外のいろいろな価値観や考え方を認めることができ、「ありがとう」という気持ちや相手を思いやる気持ちを言葉や行動で示すことができる子ども

☞ 全体的には、まわりの友達をいたわったり、やさしく声をかけたりしてくれる子どもたちが多くいます。学級の中で困っていることがあると声をかけてくれる子どもたちや、登校班やたてわり活動などでも、下級生のお世話をよくしてくれる子どもたちがいます。

☞ 一方で、言葉がきつかったり、相手のことをあまり考えないで行動してしまったりする子どもがいて、他の子どもたちに嫌な思いをさせることがありました。そのような行為については、学校としては「いじめ」として認知し、継続的に指導を行っています。しかしながら、同じような行為を繰り返してしまう子どももいます。



☞ 運動会や学習発表会などの学校行事に取り組んでいく中で、子どもたちの成長を感じます。学年それぞれのよさが際立ち、課題点は改善が図られています。先日のおなわとび大会でも、それぞれの学級の中で子どもたちの絆が深まったと思います。

☞ コミュニケーションがうまく取れないことからトラブルが生じたりするなど、人間関係上の配慮が必要な事案があります。多様性を認め、共感することができる力をもっともっと高めていく必要があると考えています。



たくましく

規則正しい生活を送り、自分やまわりの人が危なくなるようなことはしないなど、体や心がいつも健康であるように気を付け、いつも元気で生き生きと活動し、何事も最後まであきらめないうで、粘り強く取り組むことができる子ども

☞ 学校生活全般において、元気で生き生きと活動している子どもたちが多くいます。

☞ あいさつは全体的に目を見て、笑顔で明るくできる子どもたちが増えていきます。ただ、学校ではできていても、家庭や地域ではできていないのではないかとご意見もあります。

☞ 今年度は、学校安全総合支援事業のモデル地域の指定を受けて、交通安全については特に力を入れて取り組んできました。子どもたちの安全に対する意識を高め、危機を回避する能力を育むために取り組んでいます。

☞ いろいろな心配を抱えている子どもたちについては、保護者との連絡を密にし、学級担任を中心に学校として組織的に対応しています。また、スクールカウンセラーの舩津先生、スクールソーシャルワーカーの白岩先生、太良町教育委員会やその他関係機関とも連携を図り、対応しています。

☞ 全般的に規則正しい生活を送ることができているようです。しかしながら、家庭でのオンラインゲームやYouTube視聴などを行っている時間などが長く、健康面で心配な子どもたちもいるようです。

☞ 新型コロナウイルス感染防止対策に関わって、アルコール消毒やマスク着用なども全般的によくできています。3 学期以降、変異種オミクロン株の動向なども十分に注視しながら、引き続き、感染防止に努めていきたいと考えています。

ご意見などございましたら、学校までお気軽にご連絡ください。

右写真 寒い中、早朝からあいさつ運動を行って来ている子どもたち
元気なあいさつの声が響き渡っていました。



自殺予防に係る年始の文部科学大臣メッセージ

冬休みなど、長期休業明けには、全国的に子どもたちの自殺が増える傾向にあるとのこと。このような現状を踏まえて、子どもたちの自殺予防に係る年始の文部科学大臣メッセージが送られてきていますので、学校ホームページに掲載するとともに、明日、子どもさんを通じて配付いたしたいと思っております。ぜひ、お読みいただければと思います。また、保護者の皆様におかれましては、これまで同様、冬休み中も子どもたちの態度等に現れるわずかなサインなどにも注意を向けていただくとともに、子どもたちの不安や悩みを耳を傾けていただけますよう、よろしくお願ひいたします。

休み中もご心配なことがありましたら、学校もしくは太良町教育委員会までご連絡ください。